

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 嘉麻市立嘉穂中学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ <b>III</b> ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第3学年 68名
3 展開の形式	【学校における活動】 ① 教科名：総合的な学習 ② 行事名：北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会
4 目標 (ねらい)	○オリンピック・パラリンピックを契機として、スポーツの価値や共生社会の大切さを知り、そのことと「嘉穂中人権基本法」の精神とを重ね合わせて人権尊重の精神を育てる。
5 取組内容	<p>(1)「北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会」観戦に向けての事前学習 国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」を活用した総合的な学習の授業</p>  <p>(2)3年生全員による「北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会」の観戦</p> 

<p>6 主な成果</p>	<p>○国際車いすバスケットボール大会を観戦しての生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「選手一人ひとりがとても生き生きプレーして素晴らしかったです。また見てみたいと思いました。私もいろいろなことに挑戦していきたいです。」</li> <li>・「選手が退場する時に笑顔で手を振ってくれたのもうれしかったです。」</li> <li>・「テレビで見ていたものとは比べ物にならない迫力があり、車いすバスケットに興味を持ちました。」</li> <li>・「見に行く前ではいろいろ思っていたけど、実際見てみたらびっくりするくらいすごかったです。選手たちがすごくかっこいいと思いました。」</li> <li>・「カナダ選手が倒れて起き上がれないしていると日本選手がすぐに寄り添っていたところを見て、違う国の選手への思いやりを感じる事ができました。」</li> <li>・「みんなで励まし合うところと試合のレベルの高さに圧倒されました。ものすごい勢いでこいでいるのでとても勇気がいると思いました。積極的にたくさんのスポーツを調べたいと思いました。」</li> <li>・「初めて生で見たので迫力があってすごいと思いました。どんなことがあろうと夢を追い続けて、実現するまであきらめないでやろうと心に決めました。」</li> </ul> <p>生徒の感想には「あきらめない」「挑戦」「勇気」「思いやり」等の言葉が数多くみられ、これからの歩みに重ね合わせながら、概ねねらいは達成できたと考えられる。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○試合観戦を中心におきながら、その事前学習と事後の感想文作成等と組み合わせて、一連の実践として取り組むことを意識した。その中で「I'm POSSIBLE」の教材は、動画やワークシートもすぐに活用できて、非常に効果的であった。</p> <p>○北九州チャンピオンズカップ大会の観戦募集に応募し、事務局と連絡をとりながら、試合観戦申し込みや座席確保、駐車場案内等を事務局に依頼して計画を実行した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○今回は3年生のみの実践となったため、これを1・2年生にもひろげていきたい。また、生徒が学び感じた意見等を交流・還流する場面を作る実践が不十分であった。</p> <p>○本校の立地等の条件を考えると、時間面・費用面などからも実際の試合の観戦等の機会は限られる。その中においても、車いすテニス大会等、種目や参加の形態を広げて、今後も生徒がパラスポーツに接する機会を設けていきたい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○引き続き、保健体育科はもとより、総合的な学習や道徳科等での学びの機会を連携させ、一連の実践として内容を作成する。その中でも、生徒による人権集会の実施など、本校が掲げる「嘉穂中人権基本法」と、それをもとにした人権尊重精神の育成などの目標にせまる実践を作り出す。</p> <p>○引き続き、試合観戦や講演・実技体験など、パラスポーツに実際に触れる機会を計画する。</p>